

JTU エイジランキングイベント
第6回南紀白浜トライアスロン

(和歌山県白浜町)
報 告

日 時：2019年5月19日(日)

スタート：8時00分

参加者数：750人

距 離：スタンダードディスタンス 51.5 km

結 果：総合13位 年代別 45~49歳 2位

総合タイム 2時間10分28秒

スイム 1.5km=22分12秒(22) ・ バイク 40km=1時間10分30秒(14) ・ ラン 10km=37分46秒(23)

※()内はカテゴリー順位

先週のハーフアイアンマン・ベトナム大会へ出場直後での国内ランキングイベントになる。もちろん他の選手はこのようなタイトな組み方はしない。帰国後当日にお世話になっている新屋カイロプラクティックでリフレクソロジーを含めフルメニューでケア、調整をしていただいた。伊藤超短波の超音波(AT-mini)を利用し就寝時の回復を早めるよう努めた。栄養面では食事はもとより、万田酵素やメダリスト製品で細胞への栄養供給は意図的に意識した。暑くなってきた季節においてミネラルバランスをピンクイオン製品で補助した。よって難しいと思っていたエンデュランススポーツ特有の疲労度は低かった。

気持ちの上でも妻同伴で、その地のおいしいものをいただけ充実していたと思う。先週がアジア太平洋チャンピオンシップとの大きな看板で、その時よりは込み上げるような高ぶるものは少なかったが、今シーズンは昨シーズン怪我に泣いた身体と機能を払しょくし、信じていてくれた人や心配をかけた人たちへこれが本来の私だと安心してもらえるシーズンにしていけたらと思っている。そのための競技者としてランキングを意識してみたいと思っている。

最低限度で年代別1位をとっていたが、結果は46秒届かなかく2位。

今はそこを想えば、もう少しどうにかならなかったかと、要所要所に改善、反省点が出てくる。悔しさ、失敗から学ぶチャンスだろう。トライアスロンという競技に完成はない。それはどの分野でもいえることではなからうか。

しかし、その完成へ限りなく近づこうとすることが人間活動であり、人生を繋げることになっていくのだと感じる。一人ではなしえないことを皆様と共に追いかけていけることが、倖せを導く根源なのだと思う。

次回以降も今回の反省点を修正し、またトライアスロンの完成を目指したい。

自動車で片道5時間400km少々の遠征はさすがに遠かった。だが、それだけ南紀白浜でトライアスロンを通じて得た経験は大きく、これからの思い出にもなるのだろうと思っている。

感謝 トライアスリート福元哲郎



